

所属長 役職

氏名

〔公印省略〕

名古屋大学認証基盤サービス (LDAP) 利用申請書

名古屋大学認証基盤サービス利用内規に基づき、下記の通り申請いたします。

利用に際しては、利用内規を遵守し、個人情報の保護を徹底する他、利用に当たって問題が生じた場合には貴本部に速やかに報告いたします。

記

- 希望利用開始年月日： 年 月 日 (申請日から7日目以降を記入)
- 名古屋大学認証基盤サービスを利用して提供するサービスの名称及び概要

サービスの名称 _____

- サービス提供予定人数 _____人
- サービス対象部局： 全学・自部局・自部局の一部 () ・他部局 ()
- サービス対象者： 学生・役員・教員・事務職員・技術職員・非常勤教員・非常勤職員
研究生・その他 ()

6. 利用責任者

利用責任者は情報連携推進本部が定める「名古屋大学情報連携推進本部認証基盤サービス利用内規」および「本申請内容」を熟知しているものとする。また下記の内容に項目について承諾するものとする

- 提供される基本認証情報の利用は、申請された IP アドレスを有するサーバおよび当該サービスの提供に必要なコンピュータにおいてのみである。
- 情報セキュリティ監査に対応可能である。

① 氏名 _____ 印 ②所属 _____
③ 連絡先 電話番号 _____ E-mail _____

7. サービス管理者 (事務連絡窓口)

① 氏名 _____ 印 ②所属 _____
③ 連絡先 電話番号 _____ E-mail _____

8. LDAP 認証情報

①ホスト名 _____ ②IP アドレス _____

9. サービスの問い合わせ先

- ① 担当者または担当部署 _____
- ② 電話番号 _____ E-mail _____ (どちらか必須)
- ③ 上記問い合わせ先が、自サービスの画面に 記載がある、または記載予定である / 記載しない
「記載しない」選択の場合は理由をご記入ください。 ※本申請が承認されない場合があります
(記入例：テスト運用のため公開されないシステム)

10. LDAP-SSL

利用する / 利用しない (どちらかを丸で囲んでください)

※ LDAP-SSL とは、通常の LDAP サーバと負荷分散装置の SSL アクセラレータ機能を組み合わせた暗号化方式です。LDAP-SSL を使用することで、よりセキュアな LDAP 通信が可能です。

年 月 日

名古屋大学情報連携推進本部長 殿

所属長 役職

氏名 [公印省略]

名古屋大学認証基盤サービス (LDAP) 利用終了届

名古屋大学認証基盤サービスの利用を終了いたします。また、認証基盤サービスから取得したデータは全て破棄したことを確認して報告いたします。

記

1. 利用終了日： 年 月 日

2. 利用責任者

①氏名 _____ ②所属 _____
③連絡先 (電話番号) _____ (e-mail) _____

3. 事務窓口

①氏名 _____ ②所属 _____
③連絡先 (電話番号) _____ (e-mail) _____

4. LDAP 認証情報

①ホスト名 _____ ②IP アドレス _____
③使用していた LDAP バインド識別名 _____

上記の申請を承認します。

年 月 日

名古屋大学情報連携推進本部長 (公印省略)